

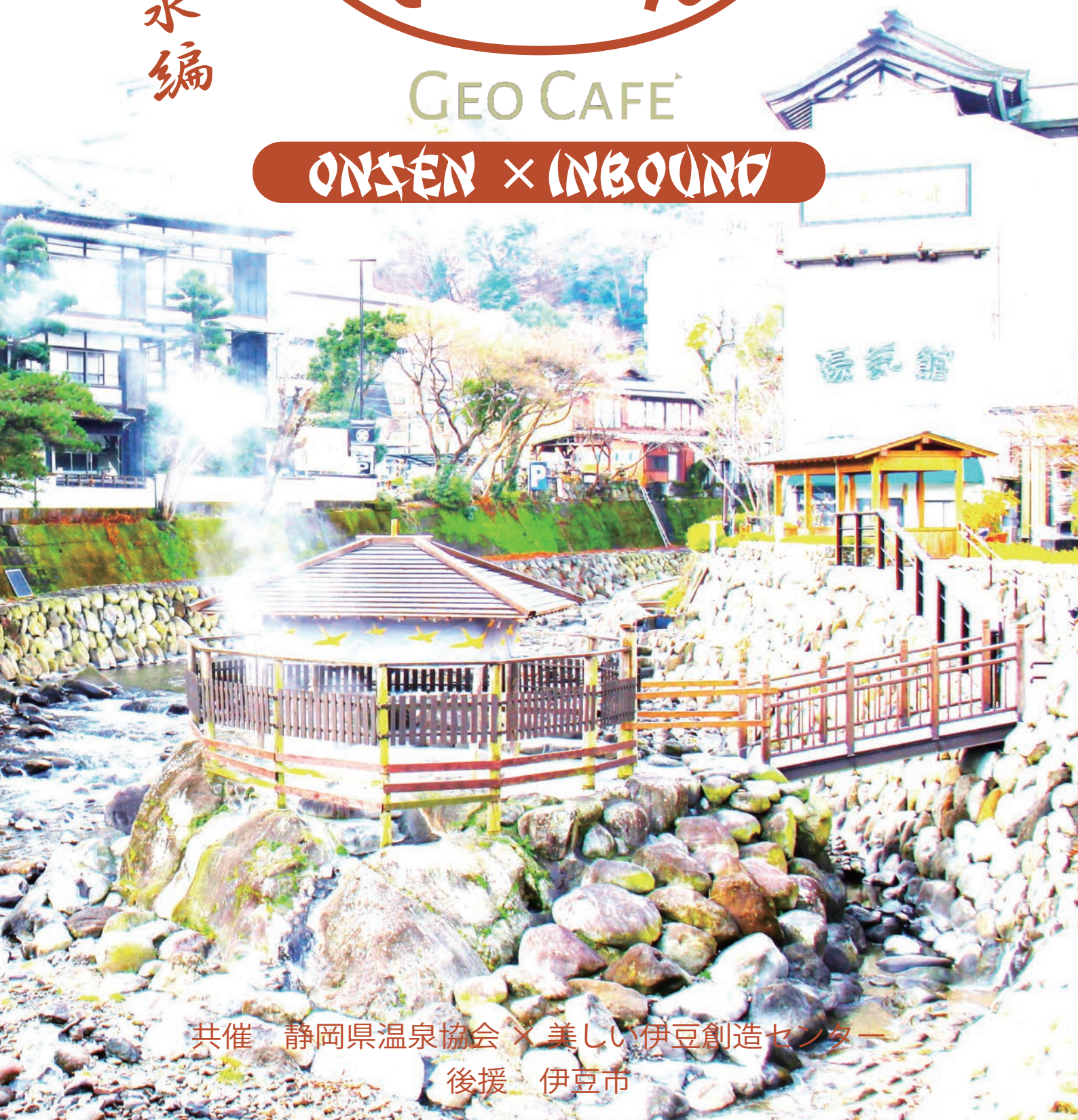
2025.01.26 ①

修善寺温泉編

SSS
おんせんは
たいへん

GEO CAFE

ONSEN × INBOUND



共催 静岡県温泉協会 × 美しい伊豆創造センター
後援 伊豆市

SSS おんせんはたいへん

異文化の視点



「日本とヨーロッパの温泉の意味合いはぜんぜん違う！日本の美しい温泉を楽しんでもらうため、まずはその違いから学ぼう。温泉の新たな未来像のヒントが見えるかも」

異文化とつなぐ人



山本涼平さん
ホステル Knot 経営
修善寺で外国人の宿泊も多いゲストハウスを経営。共同湯を活用する新たな取り組みを行っている。
「修善寺を旅人の目的地にしたい！」
ファヴァアロ・マルコさん
伊豆市地域おこし協力隊員
イタリアの温泉地出身。今回は異文化の視点を持つ人代表。

ONSEN × INBOUND

修善寺温泉の親父殿



原京さん
一石庵店主
温泉場で困ったときは原さんに聞け！
修善寺温泉の歴史に寄り添ってきた、門前甘味処の主。ドンと呼びたくなる風格。

住民の視点



勝野美葉子さん
デザイナー 燕舎店主
修善寺温泉出身。地域への思いあふれる若い世代代表。
「お酒とおつまみを持って夜の足湯でゆっくりする、とっておきの修善寺の楽しみ方！」

佐々木恵子
美しい伊豆創造センター
ジオパーク 専任研究員
アメリカで育ち、ドイツで生態学を研究してきた帰国子女。剣道女子でもある。今回、ファシリに挑戦。めーん！



ファシリ担当！

修善寺温泉といえば、平安時代に弘法大師が開いたという歴史ある温泉場で、近代になっては多くの文豪が湯治を兼ねて滞在したことで知られています。近年では高級旅館が立ち並び、高級な温泉地といった趣に。時代とともに変遷をとげてきた温泉場ですが、このところ海外からの訪問者も増えています。異文化の目に日本の温泉文化や温泉

場はどう映っているの？反対に、こちらからはどのような楽しみ方を提案できる？異文化からの来訪者の視点を取り入れることで、それぞれにとってわくわくするような、未来の修善寺温泉が思い描けるかもしれません。今回は修善寺温泉に愛着を持つ4名の方をお招きして、それぞれの目に映る温泉場の姿と、これからについて語り合います。

お申込先

右記 QR コードからお申込フォームをご利用ください

(一社) 美しい伊豆創造センター ☎ 0558-72-0520

静岡県温泉協会 ☎ 054-221-3281



開催日

2025.01.26

13:00 ~ 16:30

会場

修禅寺檀徒会館

住所

〒410-2416 伊豆市修善寺 964

※ご来場の際は近隣の駐車場をご利用ください。

お申込

お申込みが必要です (先着 30 名)
お申込は上部 QR コードから。

参加費

1000 円 (お茶と茶菓子付き)